

栄養士専門研修 開催要綱

【社会的養護処遇改善加算対象研修】

趣旨 利用者の健康と生活を食事提供から支える専門職として、福祉施設・事業所で必要な栄養管理の知識や技術を習得し、より専門性の高い業務を実践できる能力の向上を目的に開催します。

<この研修のポイント>

- 福祉施設に勤務する栄養士としての役割を再確認し、専門性をさらに高めます
- 各種加算や栄養ケア・マネジメントなどの最新情報を理解できます
- 福祉施設での実践に活かせる「実践的な栄養ケア・マネジメント」を学べます【第1分科会】
- こどもの育ちと食について、保護者支援も含めた多様な視点から理解を深めます【第2分科会】

<こんな方におすすめ>

- 福祉施設の栄養士として、利用者の生活の質（QOL）向上に役立てたい方
- 多職種と連携し、利用者を支える栄養ケア・マネジメントの実践を考えたい方【第1分科会】
- 食を通して、こどもの心身の発達や生活基盤を支える視点を学びたい方【第2分科会】

開催形式

オンライン（オンデマンド配信）

対象

現職経験年数が3年以上の栄養士

配信期間

令和8年8月10日（月）～9月30日（水）

申込期間

令和8年6月10日（水）～7月8日（水）

研修費用

会員・準会員 5,000円 非会員 12,000円

受講決定

令和8年7月15日（水）までにご連絡します。

時間	研修科目	研修内容
約 60 分	講義 1 「福祉施設に求められる栄養士の役割と制度・政策の動向」	<p>栄養士は、福祉施設等において提供するチームケアの一角を担う専門職です。常に制度・政策の動向を捉え直すことが求められます。</p> <p>栄養ケア・マネジメントや各種加算の新設・見直し、北海道における食育の現状など、具体的な制度・施策を通して、福祉施設における栄養士の役割を考えます。</p>
約 60 分	講義 2 「栄養士としての専門性を高める・広げる実践と連携」	<p>専門職として働く上で、自身の専門性を高める活動の幅を広げることは、福祉施設等が提供するケア全体の質の向上につながります。</p> <p>認定栄養ケア・ステーションや特定分野別認定制度、日本栄養士会災害支援チーム（jda-dat）等の実践や取組を通して、福祉施設内にとどまらない専門性の活かし方を学び、自身の業務や今後のキャリアに生かす視点を整理します。</p>
約 90 分	講義 3 【第 1 分科会：成人分野】 「多様なニーズに対応する栄養ケア・マネジメント」	<p>利用者の生活を食から支えるためには、それぞれの栄養状態を正確に把握し、改善策を検討することが不可欠です。</p> <p>栄養ケア・マネジメントは、福祉サービスにおける基本的な取り組みのひとつです。</p> <p>栄養ケア計画の作成から、多職種連携や日常支援に至るまで、現場で活かせる実践的な栄養ケア・マネジメントの手法を学びます。</p>
約 90 分	講義 3 【第 2 分科会：児童分野】 「こどもの食と育ちに向き合う理解と支援」	<p>食事はこどもの育ちに大きな影響を与える大切な役割を担います。</p> <p>栄養摂取だけでなく、咀嚼力の向上や食事マナーの獲得により、心身の発達や生活の基盤を支えます。</p> <p>食を通してこどもの育ちに向き合う視点を整理し、保護者支援も含めた実践につなげる方法を考えます。</p>

※講義 3 は分科会です。受講申込みの際、第 1 分科会か第 2 分科会のいずれかを選択してください。

※本研修は、対象施設〔児童養護施設、児童自立支援施設、児童心理治療施設、乳児院〕における処遇改善加算区分〔Ⅱーイ〕該当研修です。詳細については、北海道・札幌市担当所管等にご確認ください。